

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成24年2月20日

【四半期会計期間】 第36期第2四半期(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

【会社名】 朝日インテック株式会社

【英訳名】 ASAHI INTECC CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 宮田昌彦

【本店の所在の場所】 愛知県名古屋市守山区脇田町1703番地

【電話番号】 052-768-1211(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理本部長 竹内謙三

【最寄りの連絡場所】 愛知県名古屋市守山区脇田町1703番地

【電話番号】 052-768-1211(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理本部長 竹内謙三

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社名古屋証券取引所
(愛知県名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年2月14日に提出いたしました第36期第2四半期（自平成23年10月1日 至平成23年12月31日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

（1）業績の状況

（メディカル事業）

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

（1）業績の状況

（メディカル事業）

（訂正前）

円高ドル安ユーロ安の為替の影響や、当第2四半期以降のタイ洪水に伴う影響、国内直販化に向けた代理店在庫の一時的な調整などの減収要因があったものの、国内及び海外市場向けの売上高は共に増加いたしました。

<省略>

また、海外向け売上高は、円高によるマイナス影響を受けたものの、欧州市場及び中国市場を中心とした取引が好調に推移し、売上高は増加いたしました。 <以下、省略>

（訂正後）

円高ドル安ユーロ安の為替の影響や、当第2四半期以降のタイ洪水に伴う影響、国内直販化に向けた代理店在庫の一時的な調整などの減収要因があったものの、売上高は増加いたしました。

<省略>

また、海外向け売上高は、欧州市場及び中国市場を中心とした取引が好調に推移したものの、円高によるマイナス影響や、米国市場でのタイ洪水の影響を受けた一時的な供給調整などにより、売上高は減少いたしました。 <以下、省略>